

第2期 江別市強靱化地域計画(案)に係る 意見公募(パブリックコメント)の実施結果と市の考え方について

○ 意見公募の結果

募集期間	令和6年2月14日から令和6年3月14日まで
提出件数	3人
意見数	3件

○ 意見に対する市の考え方

取扱区分	内容	件数
A	意見を受け入れて案を修正するもの	
B	今後の進め方等において参考とするもの	2
C	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの	1
D	これまでも取り組んできているもの	
E	案に取り入れなかったもの	
合計		3

令和6年4月
江別市企画政策部政策推進課(総合計画・総合戦略担当)

NO.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
1	<p>江別には野幌丘陵断層帯という活断層が存在し、平成30年北海道胆振東部地震の際も市内における震度の大きさは、そうした影響も考えられると思います。</p> <p>そしてつい先日、令和6年能登半島地震が起きました。真冬の北日本を襲った脅威は、北海道でも報じられ、改めて設備の備えというものの重要性を感じます。</p> <p>江別市は札幌圏の自治体ですから、災害時に札幌市に対して協力もし、協力を受けられる関係性の構築の確立を一市民としてお願いいたします。</p>	<p>江別市は、野幌丘陵断層帯の地震発生により、最大震度7程度が想定されていることなどから、住宅・建築物等の耐震化をはじめ、積雪寒冷時における避難所の対策などを行うこととしております。</p> <p>また、災害時には、北海道との協定に基づき、市町村相互に応援を行うこととされており、物資供給をはじめ、医療、救助・救援などを迅速かつ円滑に行うための体制を構築しております。</p> <p>今後におきましても、本計画が掲げる目標「安全で安心して住み続けられるまち」の実現に向け、発災前の備えや連携体制の整備・強化に努めてまいります。</p>	C
2	<p>災害時における市民への対策として、ライフラインの確保、簡易住居の確保、地域や地元との連携など色々な対策を求めます。</p> <p>提案として、断水になった場合の簡易トイレの長期化する場合の対策として、コンポストトイレの各市民の活用を提案します。</p> <p>簡易トイレでは、液体の尿は下水に流すとしても、固形の便の蓄積が問題となります。その都度、ビニールに保管していく形で保管をしなければならず、各避難所のゴミ問題にもなっているかと思えます。</p> <p>コンポストトイレは、尿は下水へ排出（匂い対策として「きえ〜る」の微生物分解の商品などを活用する。）し、土（ピートモス、籾殻くんたん、または、籾殻やおがくず）を入れた箱（バケツでも可）に便のみを入れ、かきまぜる事で蒸発、微生物分解され、簡易トイレで蓄積する分の排出量が削減でき、土に戻す事で、さらに分解が進み無臭になります。</p> <p>これらを普段から市民が意識して個人レベルで生活をしていくと、突然の災害時、長期避難の時も安心してトイレ対策ができると思えます。</p> <p>他にも、普段から市民の災害時対策井戸端会議など実地していく事で良い対策がでてコミュニケーションにもなり、もしもの時にも対応が強化されていくと思えます。</p> <p>ぜひ取り入れてみてください。</p>	<p>災害時、市民の皆様が安心・安全に過ごせるよう、ライフラインをはじめ、応急仮設住宅の確保や地域との連携など、様々な準備や対策が必要であると認識しております。</p> <p>中でも、避難所等のトイレ環境の確保は、衛生・防疫の観点から非常に重要であるため、市では、現在、簡易トイレや段ボールトイレ等の備蓄を進めております。</p> <p>また、ご提案のコンポストトイレは、災害時に活用可能な物品として扱われる一方、気温が下がる冬期には、微生物分解に課題があるものと認識していることから、コンポストトイレの活用方法を含め、今後も避難所のトイレ機能の確保について研究してまいりたいと考えております。</p> <p>そのほか、地域防災力の強化のためには、地域での連携が非常に重要であることから、自治会や自主防災組織等が主体の避難所運営訓練や、市の出前講座等を通じて、防災意識の一層の向上を図ってまいります。</p>	B
3	<p>5 江別市強靱化に関する施策プログラム《1-1-3》避難場所等の指定・整備・普及啓発についてですが、男女双方の視点や子育て世帯のニーズに配慮した避難所の運営管理を推進するとされています。江別市防災計画にもありましたが、ぜひ、女性の視点でプライバシー、育児・介護などへの配慮について細かくニーズを拾い上げて運営管理を推進していただければと思います。</p> <p>そのために、女性のリーダーシップが発揮できるよう担当課と庁内の男女共同参画関係や子育て関係、地域の様々な女性グループと顔を合わせ意見を交換することも重要かと思えます。災害時にどんな問題が起こりうるのか、どう連携しながら住民のニーズを拾い上げどう連携しながら、市などに伝えるのかなどを話し合える関係を作っておくことも大事ではないかと思えます。</p> <p>また、市職員、医療機関や福祉関係者など、被災救援に係わる人たちの子どもを預かる支援なども重要と言われていた上で、ご検討をいただければと思います。</p>	<p>避難所等の運営に当たっては、プライバシーの確保をはじめ、妊娠中の女性や子育て世帯等に対する様々な配慮を要するため、授乳のためのスペースや育児室を設けるなど、災害の規模や施設の状態に応じた柔軟な対応が必要であると認識しております。</p> <p>また、江別市避難所運営マニュアル等の作成及び見直しにあたっては、庁内関係課と協議しているほか、地域連携避難所運営訓練や、市の防災に関する出前講座を通じて、女性や子育て世帯等のニーズを幅広く把握し、今後の避難所運営に生かしていく必要があるものと考えております。</p> <p>これらの取組に加えて、避難所運営や被災救援に携わる方のニーズを把握し、必要な取組の検討を進めてまいります。</p>	B